

沖 縄

毎年悩まされるスギ花粉が飛び始めた3月初め、杉の木が少ない沖縄へ妻と二人で旅行した。航空運賃、ホテル、レンタカー、3点をパックした3泊4日の格安ツアーである。

3月4日（晴れ）

羽田を離陸した機は、多くの若者を乗せ、3時間余の飛行を続けた午後4時、那覇空港に着陸した。空港近くでレンタカーを借り、那覇市内のホテルにチェックインする。

一休みした後、ガイドブック（熟年 沖縄 ゆとりの旅）に紹介された「味まかせ けん家」という居酒屋の暖簾をくぐる。地ビールでまずは乾杯し、アギー（豚肉）の串焼き、グルクンのから揚げ、豆腐チャンプルーなど沖縄料理と泡盛を楽しむ。



グルクンから揚げ

3月5日（晴れ）

朝食後、県道7号を南下し、「ひめゆりの塔」に向かう。サトウキビ畑が広がる道は車も少なく快適なドライブである。30分ほどで到着する。



1945年6月、敵の部隊が目前に迫り、悲劇的な最後をむかえた「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔に献花し、合掌する。併設の平和祈念資料館で、彼女たちが犠牲になった沖縄戦の展示にふれ、戦争の悲惨さに胸をつかれる。

ひめゆりの塔から平和記念公園へ向かい、沖縄戦最後の激戦地・摩文仁の丘に上る。険しい断崖絶壁とコバルトブルーの海が広がる景勝地に、県別に刻銘された戦没者の碑が並んでいる。



摩文仁の丘より



兵庫県・のじぎくの塔

平和記念公園から国道331号を海沿いに北上し、琉球第一の霊地・斎場御嶽を見学する。沖縄ソバで昼食の後、オンラインで予約しておいた守礼カントリークラブでプレーする。ここは知念半島の山を削って作った山岳コースで景色は抜群だが、OB連発の厄介なゴルフ場である。



守礼カントリークラブ



オーシャンキャッスルカントリークラブ

3月6日 (晴れ)

朝早く、沖縄自動車道を走り、中城にあるオーシャンキャッスルカントリークラブで芝を刈る。ここも海を望む山岳コースであるが、守礼よりも広々とした快適なコースである。

沖縄のゴルフ場は 18 ホールスループレールが多く、午前はゴルフ、午後は観光を楽しめる。我々もプレー後、与勝半島の丘陵に 11~12 世紀に築城された勝連城跡を訪れた。標高 97 m の城郭から与勝諸島を見渡す景観は素晴らしい。



勝連城跡



勝連城跡より与勝諸島を望む

那覇への帰途、首里城に立ち寄った。建物や城壁のほとんどが沖縄戦で破壊されたこの城は、守礼門から敷地内に入ると、真紅の正殿などが華やかに復元されており、琉球王朝が偲ばれる。



守礼門



首里城 正殿

ゴルフと観光の疲れはあるが、ホテルに戻りタクシーに乗り変えて那覇の繁華街へ向かう。運転手が勧める「中村屋」という居酒屋でゴーヤチャンプルーなど沖縄最後の夜を味わう。

3月7日 (晴れ)

今日も良い天気だ。ホテルを朝早くチェックアウトし、前回大叩きした守礼 CC に向かう。道路の速度標示は 40~50 km で、前を走る車はこの速度を忠実に守っている。また、交差点では右折車線がないため、右折車があると青信号でも待たされる。房総半島を暴走する車が多い千葉県とは大違いで、南国沖縄のゆとりを感じる。ゴルフ場に到着、逸る心でプレーを始めたが、終わってみれば前回と変わらない成績である。

好天に恵まれた 3 ラウンドのゴルフスコアは 300 を少し切る結果に終わったが、スギ花粉のない 4 日間、まあこんなもんやと満足し、那覇空港を後にした。